

学校グラウンド照明LED化工事

図 面 リ ス ト								
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
0 1	電気設備特記仕様書（1）	—	0 4	新宮小学校 照明設備配置図・機器姿図	S=1/300	1 0	中山中学校 改修内容一覧表	—
0 2	電気設備特記仕様書（2）	—	0 5	新宮小学校 照明柱改修詳細図・改修内容一覧表	S=1/50	1 1	宮小学校 照明設備配置図・機器姿図	S=1/400
0 3	電気設備特記仕様書（3）	—	0 6	花里小学校 照明設備配置図・機器姿図	S=1/400	1 2	宮小学校 照明柱改修詳細図1	S=1/50
			0 7	花里小学校 照明柱改修詳細図・改修内容一覧表	S=1/50	1 3	宮小学校 照明柱改修詳細図2・改修内容一覧表	S=1/50
			0 8	中山中学校 照明設備配置図・機器姿図	S=1/500	1 4	宮中学校 照明設備配置図・機器姿図	S=1/300
			0 9	中山中学校 照明柱改修詳細図	S=1/50	1 5	宮中学校 照明柱改修詳細図・改修内容一覧表	S=1/50

※図面の縮尺はA 2 版サイズによるものとする。

設計監理：てらい建築設計

1 一 般 共 通 事 項	16	監督職員事務所	○ 設けない ・ 設ける（ 号） ・ 既設建物を使用
	17	工事電力・水その他	本工事に必要な工事電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。
	18	工事用仮設物	すべて受注者の負担とする。 但し、設置条件は、構内につくることが（○）できる・できない（）。
	19	足場場・棧橋類	・ 別契約の関係受注者の定置する足場、棧橋の類は、無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。
	20	施工計画書	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、同ガイドライン「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、同ガイドライン「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式または、（3）手すり専用足場方式により、足場の組立、解体または変更の作業を行う。 ○ 総合施工計画書 工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を工事の着手に先立ち作成し、監督員に提出する。 ○ 工種別施工計画書 次の工種について作成し、監督員にて提出する。 ・ 変電設備 ・ 発電設備 ・ 電力貯蔵設備 ○ 照明設備
	21	施工図等	施工図等の著作権にかかる使用权は、発注者に移譲するものとする。
	22	完成図等	完成図等は、標準仕様書第1編第1章第7節「完成図」により作成する。 完成図をC A Dにより作成する場合の保存形式及び保存媒体は、監督員の指示による。 ○ 設計図（C A D データ）修正
	23	営繕工事電子納品	営繕工事電子納品要領による。
	24	火災保険等	工事施工中、火災保険または、それに代わる請負賠償責任保険等に参加し、証書の写しを提出する。
	25	軽微な変更等	現場の納まり、取合いなどの関係による協議の中で、設計図書によることが困難または、不都合な場合の軽微な変更は、監督員の指示による。この場合、請負金額の変更は行わない。
	26	不当介入における 通報義務	妨害又は不当要求に対する通報義務 1）受注者は契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求または契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することがある。 2）受注者は暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。
	27	残土処分	建設発生土を構外搬出（または搬入）する場合は、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守して、適正に処理すること。 ・ 監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 別途 ・ 構外搬出とする（※土壌検査を ・ 実施する ・ 実施しない）。
	28	他工事との工事区分	図面に特記なき場合、別表「C. 工事区分表」による。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議する。
	29	合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう管（P F 管）及び付属品は、タイプ25のものを使用する。なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打込み部分は金属製としてもよい。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。また、ボックス類を外部に面した壁に打込む場合はボックスに保温・結露対策の処置を施すこと。
	30	薄銅電線管	薄銅電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。
	31	電線本数・管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。また、機械室等の床配線は図面上P F 管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。
	32	電線管の塗装	次の露出配管は塗装を行う。 ○ 屋 外 （ 露出配管部 ） ・ 屋 内 （ ）
	33	保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。
	34	最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。
	35	呼び線	長さ1 m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
36	プレートの材質	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ・ 金属製（ステンレス・新金属製を含む） ・ 樹脂製	
37	位置ボックス等	ケーブルろがし配線で送り配線端子のある場合は、照明器具、スピーカー、感知器の位置ボックスは、不要とする。	
38	E M－E E F ケーブルの仕様について	3心以上のE M－E E F ケーブルについて、1心を接地線として使用する場合は当該心線絶縁体の識別色が緑色である材料を使用すること。	
39	地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは0.6 m以上とする。また、地中配線には標識シート等（2倍長以上重ね）を設ける。	
40	地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は、次による。 ・ 鉄製（ 箇所） ・ コンクリート製（ 箇所）	
41	ハンドホルの鉄蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、鋳形流し込みで用途名を表示する。 ・ 構内配電線路の用途名（ ・ 電力 ・ 高圧 ） ・ 構内通信線路の用途名（ ・ 通信 ・ ） ・ 共用する場合の用途名（ ・ 電力 ・ ）	
42	電力・電話等の引き込み	電力及び電話等引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者等と打合せのうえ監督員と協議により施工する。	

1
一般
共通
事項

43 接 地 極

図面に特記なき場合は、次表の「接地極一覧表」による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
・ 共同設置	E _{A・B・C・D}	Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ 共同設置	E _{A・C・D}	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ A 種	E _A	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ B 種	E _B	Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ C 種	E _C	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ D 種	E _D	Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連— 組
・ D 種	E _D	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1
・ 高圧避雷器	E _{LH}	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ 交換装置用	E _t	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ 通信用	E _{Dt}	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連—2 組
・ 通信用	E _{Dt}	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1
・ 電話引込口の保安器用	E _{Dt}	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1
・ 測定用	E _D	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,500 または W=30、L=1,200) × 3 連—1 組
・ 構造体接地		Ω 以下	
・ 等電位接地		Ω 以下	

44 機器取付高さ

図面に特記なき場合は、次による。

名 称	測 点	取付高さ(mm)	名 称	測 点	取付高さ(mm)
電力 共通 換算計器	地 上～窓中心	1,800～2,000	出 退 表 示 情報表示盤	床 上～中 心	天井高×0.9
引込開閉器	地 上～中 心	1,800～2,000	壁付発信器	床 上～中 心	1,300
分電盤	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)	ベル・ブザー・チャイム	床 上～中 心	2,300
スイッチ	床 上～中 心	1,300	壁付押釦（一般）	床 上～中 心	1,300
スイッチ（自動扉）	床 上～中 心	1,800	壁付インターホン（一般）	床 上～中 心	1,300
スイッチ（人感センサ）	床 上～中 心	1,800	“（身体障害者）	床 上～中 心	1,100
コ ン セ ン ト	（一般）	床 上～中 心 300	壁付アウトレット（一般）	床 上～中 心	300
	（和室）	床 上～中 心 150	壁付アウトレット（和室）	床 上～中 心	150
	（台上）	床 上～中 心 150～ 200	呼出釦（多目的便所）	床 上～中 心	900
	（土間）	床 上～中 心 500	復帰釦	床 上～中 心	1,500～1,800
	（外壁・屋外）	地 上～中 心 800	機器収納箱	天井下～上 端	200
フ ラ ケ ッ ト	（一般）	床 上～中 心 2,100～2,300	直列ユニット（一般）	床 上～中 心	300
	（踊場）	床 上～中 心 2,000～2,500	直列ユニット（和室）	床 上～中 心	150
	（鏡上）	鏡上端～中 心 150			
動 力	壁掛形制御盤	床 上～中 心 1,500 (上端1,900以下)	受信機・副受信機	床 上～中 心	800～1,500
	手元開閉器	床 上～中 心 1,500	機器収納箱・発信器	床 上～中 心	800～1,500
	制御スイッチ	床 上～中 心 1,300	警報ベル	床 上～中 心	800～1,500
構 内 交 換	室内端子盤	床 上～下 端 300	表示灯	床 上～中 心	2,100
	集合保安器箱	天井下～上 端 200	ガス用検知器（LPG）	床 上～上 端	300
	壁付電話機	床 上～中 心 1,300	注） 1）天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて 機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議 する。		
	（一般）	床 上～中 心 300	2）意匠に関する部分（正面玄関・玄関ホール・EVホー ル・上級室・会議室）の取付位置は、監督員と協議 すること。		
	（和室）	床 上～中 心 150	3）表記は原則とし、施工時に監督員の承諾を受ける。		
時 計	壁掛形親時計	床 上～中 心 1,500			
		(上端1,900以下)			
	子時計	床 上～中 心 天井高×0.9			
拡 声	壁掛形スピーカ	床 上～中 心 天井高×0.9			
	壁付アッテネータ	床 上～中 心 1,300			

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	電気設備特記仕様書（２）		
縮 尺	FREE	番号	15枚の内 2号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

原設計図
【A 2】

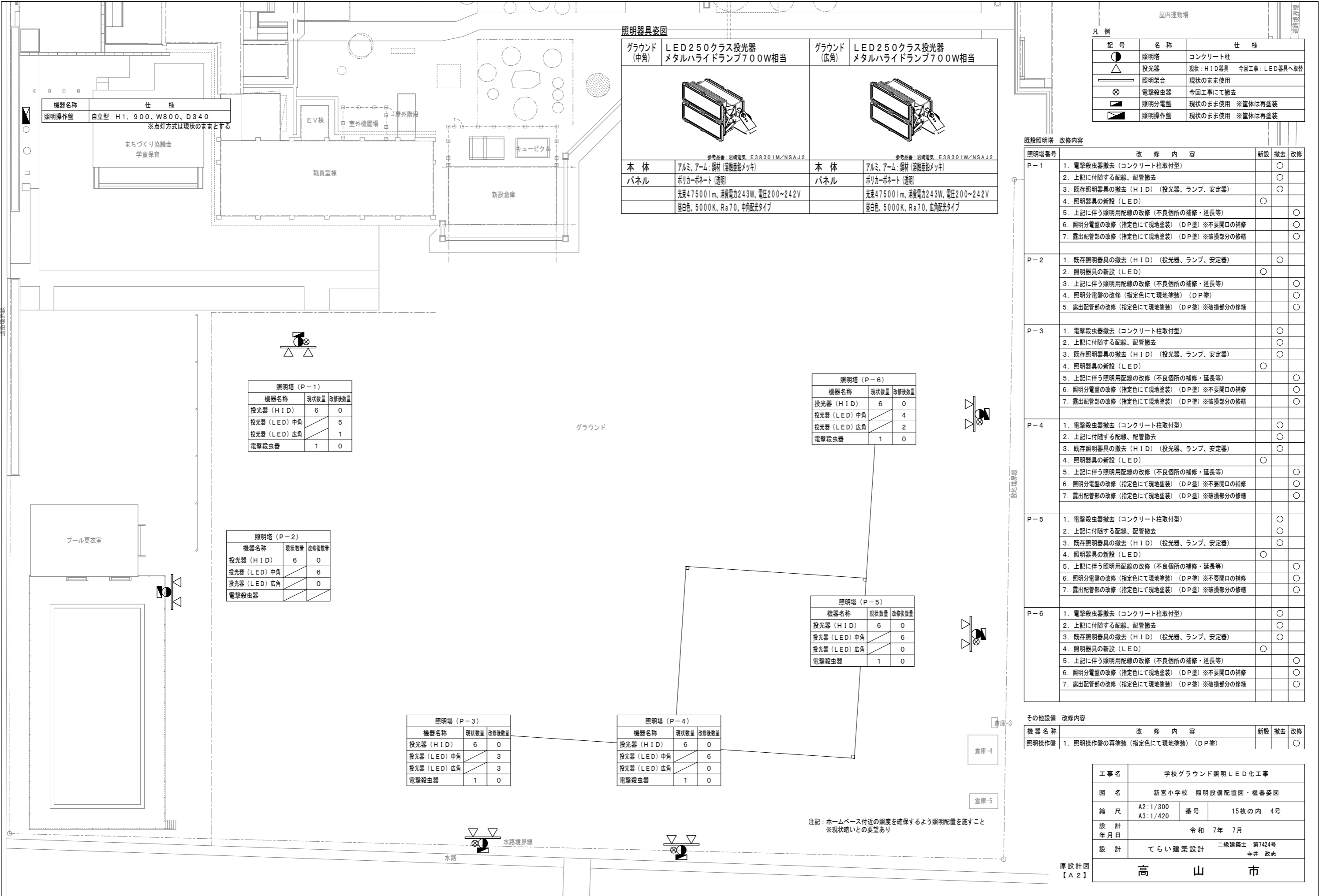
1 一 般 共 通 事 項	45	耐震措置	<p>設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省）2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。</p> <p>1）設計用水平地震力は機器重量に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <p>なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は次の表による。</p> <table><tr><td>＜施設区分＞</td><td>・ 特定の施設</td><td>・ 一般の施設</td><td></td><td></td></tr><tr><td>＜重要機器＞</td><td>・ 配電盤</td><td>・ 発電装置(防災用)</td><td>・ 交流無停電電源装置</td><td>・ 直流電源装置</td></tr><tr><td></td><td>・ 交換装置</td><td>・ 中央監視制御装置</td><td>・ 自動火災報知受信機</td><td>・ 総合盤</td></tr><tr><td></td><td>・ 放送架</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> <p>＜上層階の定義＞ 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</p> <p>＜中層階の定義＞ 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <table><tr><th colspan="5">局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度</th></tr><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">特定の施設（甲類・乙類）</th><th colspan="2">一般施設（乙類）</th></tr><tr><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0) ＜2.0＞</td><td>1.5 (2.0) ＜1.5＞</td><td>1.5 (2.0) ＜1.5＞</td><td>1.0 (1.5) ＜1.0＞</td></tr><tr><td>1.5 (1.5) ＜1.5＞</td><td>1.0 (1.5) ＜1.0＞</td><td>1.0 (1.5) ＜1.0＞</td><td>0.6 (1.0) ＜0.6＞</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>1.5 (1.5) ＜1.5＞</td><td>1.0 (1.5) ＜1.0＞</td><td>1.0 (1.5) ＜1.0＞</td><td>0.6 (1.0) ＜0.6＞</td></tr><tr><td>1.0 (1.0) ＜1.5＞</td><td>0.6 (1.0) ＜1.0＞</td><td>0.6 (1.0) ＜1.0＞</td><td>0.4 (0.6) ＜0.6＞</td></tr></table> <p>(注) () 内数値は防振支持の機器に適用する。 ＜ ＞ 内数値は水槽類に適用する。</p> <p>2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>() 書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。</p> <p>1）安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。</p> <p>(1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、作業する高さに関わらず安全帯を使用しなければならない。</p> <p>(2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の掛け替え等が生じる場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。</p> <p>1）受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上の時間を割り当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。</p> <p>さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で想定される事故防止対策を必ず実施すること。</p> <p>(1) 安全活動のビデオ等視聴覚資料による安全教育</p> <p>(2) 当該工事内容等の周知徹底</p> <p>(3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底</p> <p>(4) 当該工事における災害対策訓練</p> <p>(5) その他、安全・訓練等として必要な事項</p> <p>http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/index_3971.html</p> <p>1）本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>2）本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は岐阜県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は岐阜県産とするよう努めること。</p> <p>3）ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について</p> <p>(1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。</p> <p>(2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。</p> <p>4）コンセントプレート、中継ボックス及びOAフロアー内ハーネスジョイントボックスには、行先分電盤名、回路名を表示すること。</p> <p>5）キュービクル及び各分電盤には幹線系統図を作成し、各々に添付すること。</p>	＜施設区分＞	・ 特定の施設	・ 一般の施設			＜重要機器＞	・ 配電盤	・ 発電装置(防災用)	・ 交流無停電電源装置	・ 直流電源装置		・ 交換装置	・ 中央監視制御装置	・ 自動火災報知受信機	・ 総合盤		・ 放送架	・	・	・	局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度					設置場所	特定の施設（甲類・乙類）		一般施設（乙類）		重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽	上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0) ＜2.0＞	1.5 (2.0) ＜1.5＞	1.5 (2.0) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	1.5 (1.5) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜0.6＞	中間階	1.5 (1.5) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜0.6＞	1.0 (1.0) ＜1.5＞	0.6 (1.0) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜1.0＞	0.4 (0.6) ＜0.6＞
	＜施設区分＞	・ 特定の施設	・ 一般の施設																																																				
	＜重要機器＞	・ 配電盤	・ 発電装置(防災用)	・ 交流無停電電源装置	・ 直流電源装置																																																		
	・ 交換装置	・ 中央監視制御装置	・ 自動火災報知受信機	・ 総合盤																																																			
	・ 放送架	・	・	・																																																			
局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度																																																							
設置場所	特定の施設（甲類・乙類）		一般施設（乙類）																																																				
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																			
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0) ＜2.0＞	1.5 (2.0) ＜1.5＞	1.5 (2.0) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞																																																			
	1.5 (1.5) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜0.6＞																																																			
中間階	1.5 (1.5) ＜1.5＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	1.0 (1.5) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜0.6＞																																																			
	1.0 (1.0) ＜1.5＞	0.6 (1.0) ＜1.0＞	0.6 (1.0) ＜1.0＞	0.4 (0.6) ＜0.6＞																																																			
46	天井仕上区分																																																						
47	安全施設の使用 ・設置																																																						
48	定期安全訓練 ・研修等																																																						
49	その他																																																						
2 電 力 ・ 受 変 電 ・ 発 電	1	照明制御 総合動作試験	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督員に試験成績書を提出し承諾を受けること。																																																				
	2	照度測定	一般照明の照度測定を着工前、完成時の2回測定し、監督員に報告する。なお、測定場所は、監督員との協議による。																																																				
	3	発電機回路	発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。また、発電機回路用ケーブルの被覆も色分けすること。																																																				
2 電 力 ・ 受 変 電 ・ 発 電	4	自家発電設備の 配管工事等	原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は監督員の承諾を受けて多少相違しても差し支えない。																																																				
	5	電動機等の接地	金属管配管において、電動機容量7.5kw以下は金属管を接地線とする。																																																				

2 電 力 ・ 受 変 電 ・ 発 電	6	分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：付属書JC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。
	7	OA盤・端子盤	また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：付属書JC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P2E）とする。
	8	インバーター装置の 規約効率	OA盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。
3 通 信 ・ 情 報	9	低圧配電盤	三相可変速運転用インバーター装置の規約効率は、次の数値以上とする。
	10	設備機器容量等	本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督員と協議し、指示を受けること。
4 改 修 一 般 事 項	1	ケーブル	EM-CPEEケーブルは、EM-FCPEEを使用しても良い。
	2	非常放送用スピーカ	EM-UTPケーブルは、使用用途が判別できるようシース色等を変えること。
	3	電界強度の測定	1W（ L級 M級 S級 ） 3W（ L級 M級 S級 ）
4 改 修 一 般 事 項	4	養生	最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電波の電界強度測定を1ヶ所以上行うこと。
	5	はつり	また、その報告書を監督員まで提出すること。
	6	再使用機器	
4 改 修 一 般 事 項	7	既設との取り合い	
	8	週休2日制の導入	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	9	微量PCB混入の可能性 がある安定器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。
4 改 修 一 般 事 項	10	J R東海への事前確認	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
			本工事は、完全週休2日を原則とした週休2日制工事（現場閉所）とする。
			詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」による。
4 改 修 一 般 事 項			宮小学校の安定器（微量PCB混入の可能性あり）は銅板製の箱に入れて資源リサイクルセンター内ヤード内の倉庫に搬入すること。
			※搬入時期及び箱等の仕様については監督員へ事前に協議すること。
			花里小学校の照明塔（A柱、B柱）について高山本線の線路付近であることから着工前にJ R東海と協議すること。

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	電気設備特記仕様書（3）		
縮 尺	FREE	番 号	15枚の内 3号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

原設計図
【A2】

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	電気設備特記仕様書（3）		
縮 尺	FREE	番号	15枚の内 3号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			



照明器具姿図

グラウンド (中角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当	グラウンド (広角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当
参考品番：岩崎電気 E38301M/NSAJ2		参考品番：岩崎電気 E38301W/NSAJ2	
本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）	パネル	ポリカーボネート（透明）
光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V		光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V	
屋白色、5000K、Ra70、中角配光タイプ		屋白色、5000K、Ra70、広角配光タイプ	

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	照明塔	コンクリート柱
	投光器	現状：HID器具 今回工事：LED器具へ取替
	照明架台	現状のまま使用
	電撃殺虫器	今回工事にて撤去
	照明分電盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装
	照明操作盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装

既設照明塔 改修内容

照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
P-1	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
P-2	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
	5. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
P-3	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
P-4	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
P-5	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
P-6	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の改修（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○

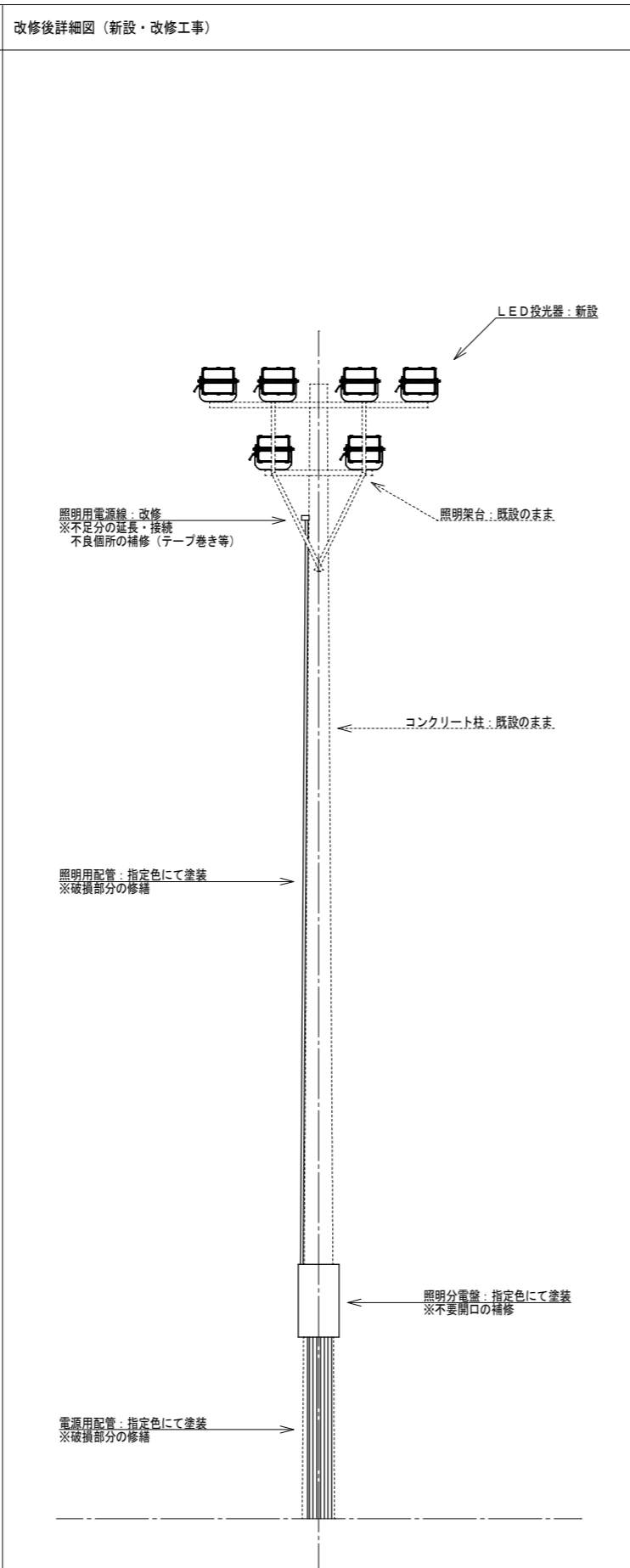
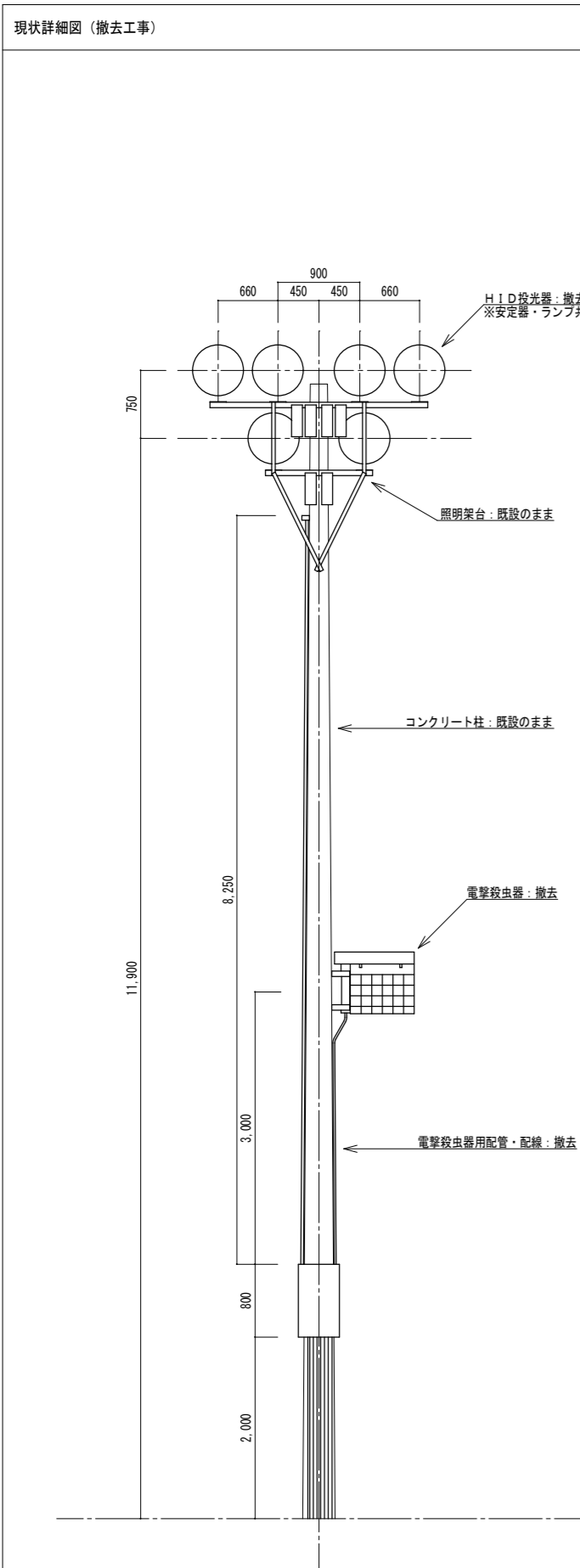
その他設備 改修内容

機 器 名 称	改 修 内 容	新設	撤去	改修
照明操作盤	1. 照明操作盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	新宮小学校 照明設備配置図・機器姿図		
縮 尺	A2:1/300 A3:1/420	番 号	15枚の内 4号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

原設計図
【A2】

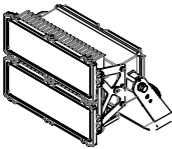
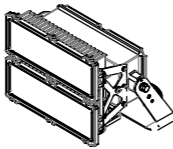
注記：ホームベース付近の照度を確保するよう照明配置を施すこと
※現状暗いとの要望あり









改修内容一覧表															
	機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考		機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考
照明塔（P-1）	コンクリート柱		1本				現状のまま	照明塔（P-6）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま		照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま
	投光器（HID）	1000W型	6台	○			約9.3kg		投光器（HID）	1000W型	6台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg		同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg
	同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg		同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg
	投光器（LED）		6台		○		既設照明架台に取付		投光器（LED）		6台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	1V2.0 ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○			照明用配線	1V2.0 ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:800×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不具合箇所は補修する		照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:800×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不具合箇所は補修する
	露出配管（分電盤上部）	G28×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤上部）	G28×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する
	露出配管（分電盤下部）	VE16×1本、VE36×3本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤下部）	VE16×1本、VE36×3本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する
電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg	電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg		
電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（1V2.0×2）	1式	○				電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（1V2.0×2）	1式	○					
照明塔（P-2）	コンクリート柱		1本				現状のまま	照明操作盤	照明操作盤	銅板製 自立型 W:800×H:1,900×D:340	1面			○	指定色 現地DP塗装
	照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま								
	投光器（HID）	1000W型	6台	○			約9.3kg								
	同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg								
	同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg								
	投光器（LED）		6台		○		既設照明架台に取付								
	照明用配線	1V2.0 ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○									
	照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:800×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不具合箇所は補修する								
	露出配管（分電盤上部）	G28×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する								
	露出配管（分電盤下部）	VE16×1本、VE36×2本、VE54×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する								
照明塔（P-3）	コンクリート柱		1本				現状のまま								
	照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま								
	投光器（HID）	1000W型	6台	○			約9.3kg								
	同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg								
	同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg								
	投光器（LED）		6台		○		既設照明架台に取付								
	照明用配線	1V2.0 ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○									
	照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:800×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不具合箇所は補修する								

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	新宮小学校 照明柱改修詳細図・改修内容一覧表		
縮 尺	A2:1/50 A3:1/70	番号	15枚の内 5号
設 計 年 月	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計		二級建築士 第7424号 寺井 政志
高 山 市			

照明器具姿図

グラウンド (中角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当	グラウンド (広角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当
			
参考品番：岩崎電気 E38301M/NSAJ2		参考品番：岩崎電気 E38301W/NSAJ2	
本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）	パネル	ポリカーボネート（透明）
	光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V		光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V
	昼白色、5000K、Ra70、中角配光タイプ		昼白色、5000K、Ra70、広角配光タイプ

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	照明塔	コンクリート柱
	投光器	現状：HID器具 今回工事：LED器具へ取替
	照明架台	現状のまま使用
	電撃殺虫器	今回工事にて撤去
	照明分電盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装
	照明操作盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装

既設照明塔 改修内容

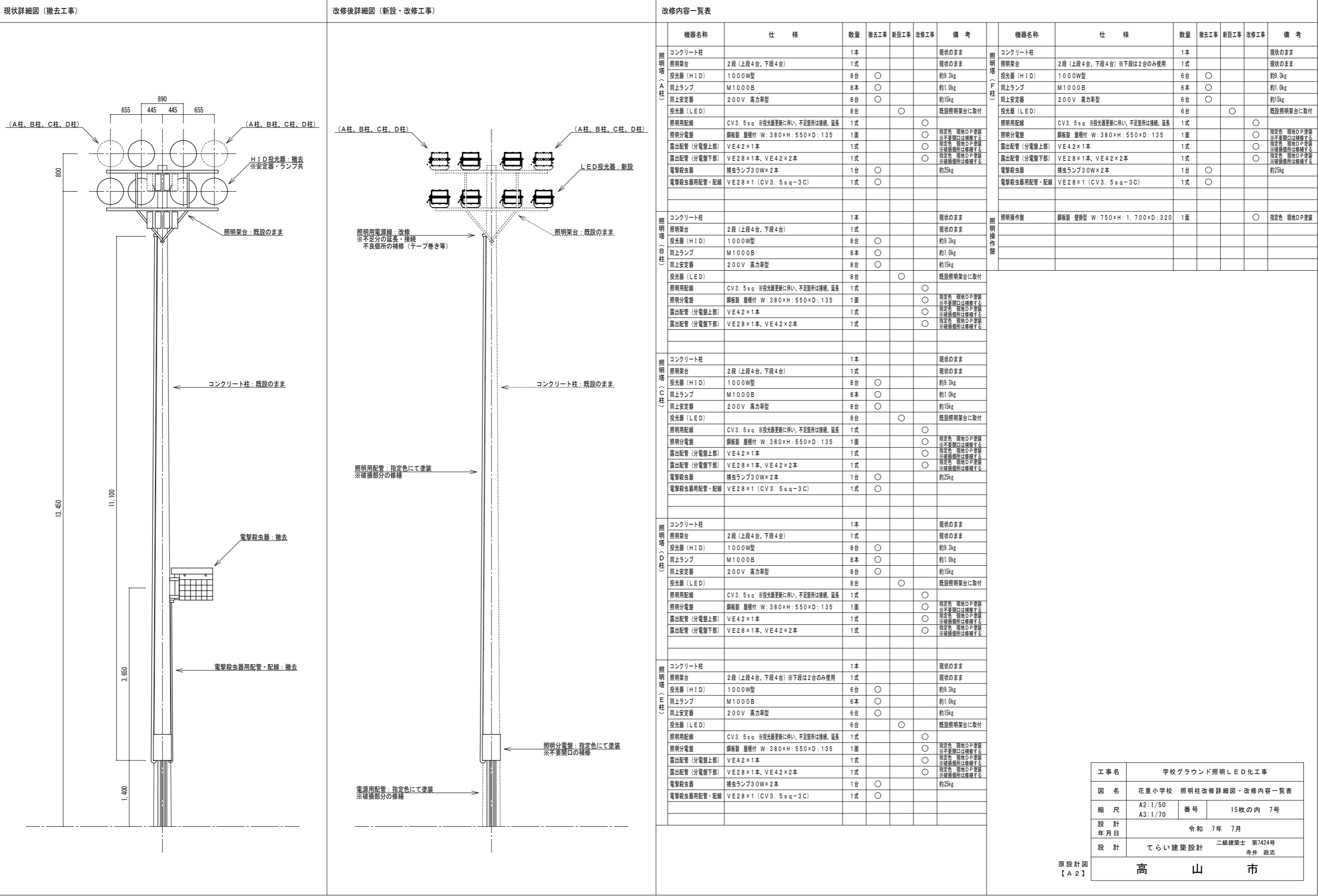
照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
A柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
B柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
C柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
D柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
E柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
F柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○

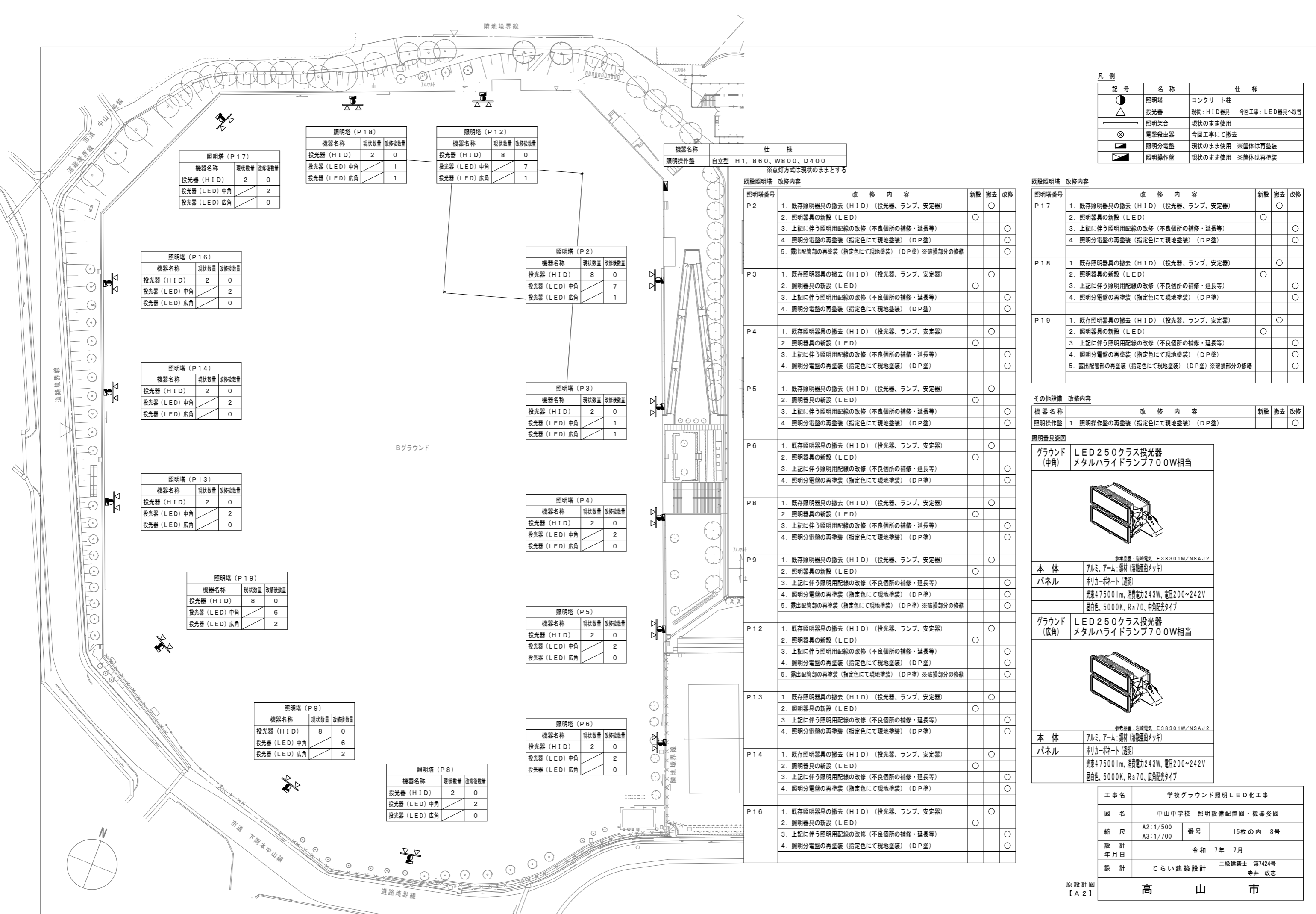
その他設備 改修内容

機 器 名 称	改 修 内 容	新設	撤去	改修
照明操作盤	1. 照明操作盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○

工事名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	花里小学校 照明設備配置図・機器姿図		
縮 尺	A2:1/400 A3:1/560	番号	15枚の内 6号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

原設計図
【A2】





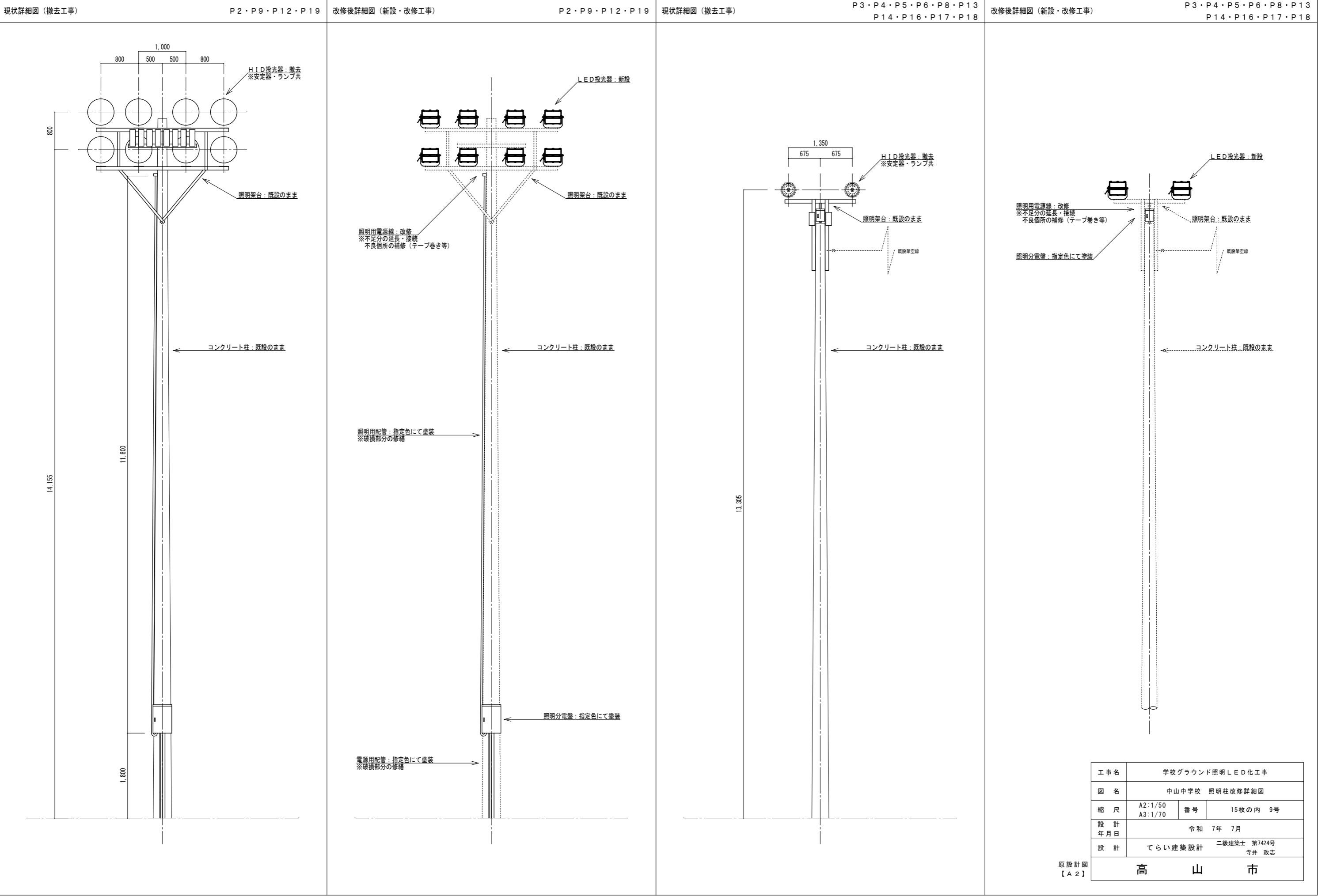
凡 例			
記 号	名 称	仕 様	
	照明塔	コンクリート柱	
	投光器	現状：H I D器具	今回工事：LED器具へ取替
	照明架台	現状のまま使用	
	電撃殺虫器	今回工事にて撤去	
	照明分電盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装	
	照明操作盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装	

既設照明塔 改修内容				
照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
P 1 7	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（D P 塗）			○
P 1 8	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（D P 塗）			○
P 1 9	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（D P 塗）			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（D P 塗）※破損部分の修繕			○

その他設備 改修内容				
機 器 名 称	改 修 内 容	新設	撤去	改修
照明操作盤	1. 照明操作盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（D P 塗）			○

照明器具姿図	
グラウンド （中角）	L E D 2 5 0 クラス投光器 メタルハライドランプ7 0 0 W相当
参考品番：岩崎電気 E 3 8 3 0 1 M / N S A J 2	
本 体	アルミ、7 ー ム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）
光束4 7 5 0 0 l m、消費電力2 4 3 W、電圧2 0 0 ~ 2 4 2 V	
昼白色、5 0 0 0 K、Ra 7 0、中角配光タイプ	
グラウンド （広角）	L E D 2 5 0 クラス投光器 メタルハライドランプ7 0 0 W相当
参考品番：岩崎電気 E 3 8 3 0 1 W / N S A J 2	
本 体	アルミ、7 ー ム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）
光束4 7 5 0 0 l m、消費電力2 4 3 W、電圧2 0 0 ~ 2 4 2 V	
昼白色、5 0 0 0 K、Ra 7 0、広角配光タイプ	

工 事 名	学校グラウンド照明 L E D 化工事		
図 名	中山中学校 照明設備配置図・機器姿図		
縮 尺	A2: 1/500 A3: 1/700	番号	15枚の内 8号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
原設計図 【 A 2 】	高 山 市		



[illegible]

照明器具姿図

グラウンド (中角)	LED250クラス投光器 メタルハライドランプ700W相当	グラウンド (広角)	LED250クラス投光器 メタルハライドランプ700W相当
参考品番：岩崎電気 E38301M/NSAJ2		参考品番：岩崎電気 E38301W/NSAJ2	
本 体	アルミ、7-ーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、7-ーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明） 光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V 屋白色、5000K、Ra70、中角配光タイプ	パネル	ポリカーボネート（透明） 光束47500lm、消費電力243W、電圧200～242V 屋白色、5000K、Ra70、広角配光タイプ

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	照明塔	コンクリート柱
	投光器	現状：HID器具 今回工事：LED器具へ取替
	照明架台	現状のまま使用
	電撃殺虫器	今回工事にて撤去
	照明分電盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装
	照明操作盤	現状のまま使用 ※筐体は再塗装

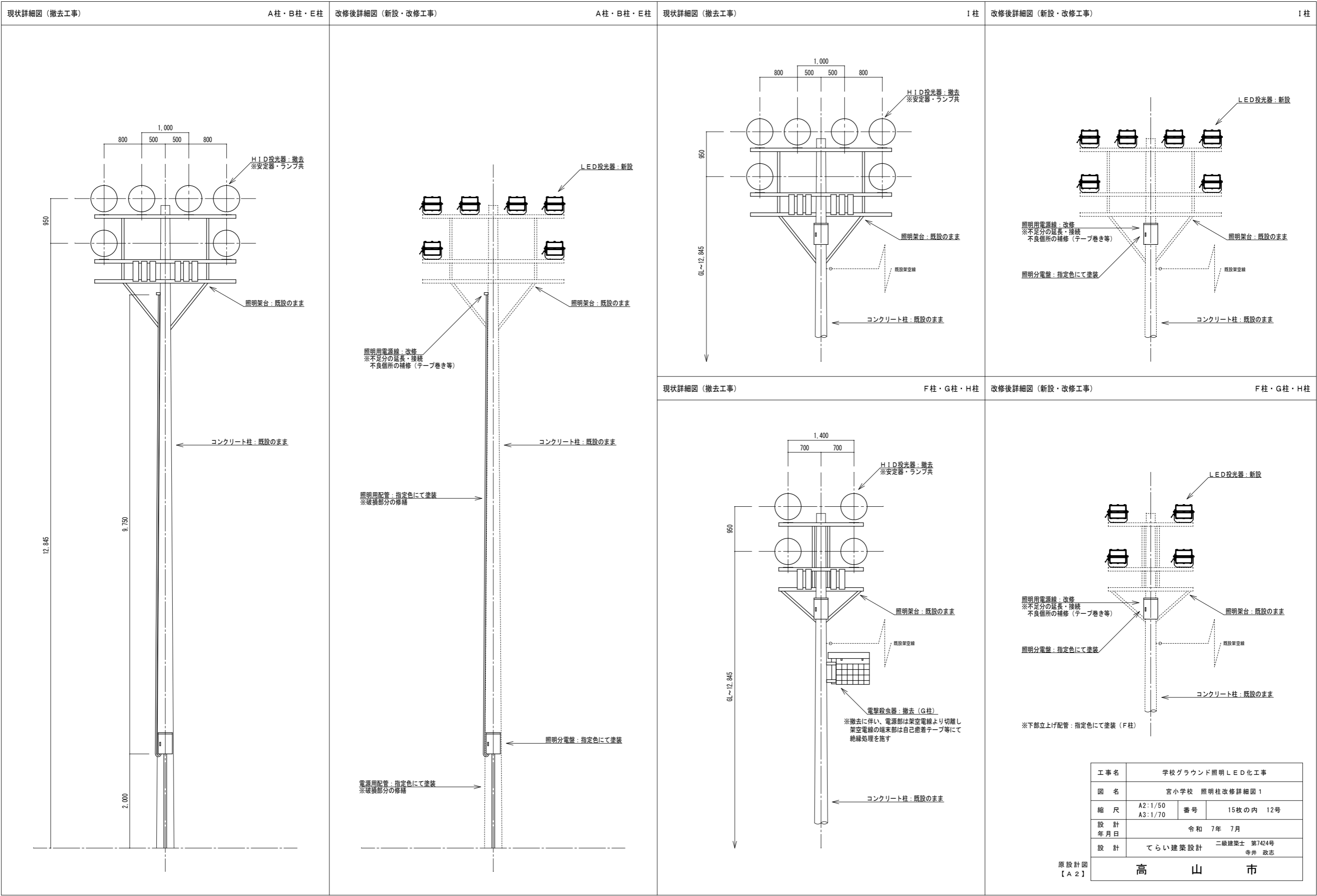
既設照明塔 改修内容

照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
A柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
B柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
C柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※不要開口の補修			○
D柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
E柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
	5. 露出配管部の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）※破損部分の修繕			○
F柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
G柱	1. 電撃殺虫器撤去（コンクリート柱取付型）		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	4. 照明器具の新設（LED）	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	6. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
H柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○
I柱	1. 既存照明器具の撤去（HID）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（LED）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良箇所の補修・延長等）			○
	4. 照明分電盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○

その他設備 改修内容

機 器 名 称	改 修 内 容	新設	撤去	改修
照明操作盤	1. 照明操作盤の再塗装（指定色にて現地塗装）（DP塗）			○

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	宮小学校 照明設備配置図・機器姿図		
縮 尺	A2:1/400 A3:1/560	番 号	15枚の内 11号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
原 設 計 図 【 A 2 】	高 山 市		



現状詳細図（撤去工事）		改修後詳細図（新設・改修工事）											
C柱・D柱		C柱・D柱											
改修内容一覧表		改修内容一覧表											
照明塔（A柱）		照明塔（F柱）											
機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考	機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考
コンクリート柱		1本				現状のまま	コンクリート柱		1本				現状のまま
照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま	照明架台	2段（上段2台、下段2台）	1式				現状のまま
投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	6台	○			約9.3kg	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	4台	○			約9.3kg
同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg	同上ランプ	M1000B	4本	○			約1.0kg
同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg	同上安定器	200V 高力率型	4台	○			約15kg
投光器（L E D）		6台		○		既設照明架台に取付	投光器（L E D）		4台		○		既設照明架台に取付
照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○		照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:300×H:450×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装	照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:380×H:550×D:135	1面			○	指定色 現地DP塗装
露出配管（分電盤上部）	G22×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	露出配管	VE54×3本（L=3,800）	1式				指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する
露出配管（分電盤下部）	VE54×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	架空電線						現状のまま
照明塔（B柱）		照明塔（G柱）											
コンクリート柱		1本				現状のまま	コンクリート柱		1本				現状のまま
照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま	照明架台	2段（上段2台、下段2台）	1式				現状のまま
投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	6台	○			約9.3kg	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	4台	○			約9.3kg
同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg	同上ランプ	M1000B	4本	○			約1.0kg
同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg	同上安定器	200V 高力率型	4台	○			約15kg
投光器（L E D）		6台		○		既設照明架台に取付	投光器（L E D）		4台		○		既設照明架台に取付
照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○		照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:300×H:450×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装	照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:380×H:550×D:135	1面			○	指定色 現地DP塗装
露出配管（分電盤上部）	G22×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg
露出配管（分電盤下部）	VE54×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	架空電線						現状のまま 養生養生箇所処理有
照明塔（C柱）		照明塔（H柱）											
コンクリート柱		1本				現状のまま	コンクリート柱		1本				現状のまま
照明架台	2段（上段2台、下段2台）	1式				現状のまま	照明架台	2段（上段2台、下段2台）	1式				現状のまま
投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	4台	○			約9.3kg	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	4台	○			約9.3kg
同上ランプ	M1000B	4本	○			約1.0kg	同上ランプ	M1000B	4本	○			約1.0kg
同上安定器	200V 高力率型	4台	○			約15kg	同上安定器	200V 高力率型	4台	○			約15kg
投光器（L E D）		4台		○		既設照明架台に取付	投光器（L E D）		4台		○		既設照明架台に取付
照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○		照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:300×H:450×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不要開口は補修する	照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:380×H:550×D:135	1面			○	指定色 現地DP塗装
露出配管（分電盤上部）	G22×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	架空電線						現状のまま
露出配管（分電盤下部）	VE54×2本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する							
電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg							
電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（1V3.5sq×2）	1式	○										
照明塔（D柱）		照明塔（I柱）											
コンクリート柱		1本				現状のまま	コンクリート柱		1本				現状のまま
照明架台	2段（上段2台、下段2台）	1式				現状のまま	照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま
投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	4台	○			約9.3kg	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	6台	○			約9.3kg
同上ランプ	M1000B	4本	○			約1.0kg	同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg
同上安定器	200V 高力率型	4台	○			約15kg	同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg
投光器（L E D）		4台		○		既設照明架台に取付	投光器（L E D）		6台		○		既設照明架台に取付
照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○		照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:300×H:450×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装 ※不要開口は補修する	照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:380×H:550×D:135	1面			○	指定色 現地DP塗装
露出配管（分電盤上部）	G22×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	架空電線						現状のまま
露出配管（分電盤下部）	VE54×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する							
電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（1V3.5sq×2）	1式	○										
スピーカー用設備		1式				本工事対象外 現状のまま							
照明塔（E柱）		照明操作盤											
コンクリート柱		1本				現状のまま	照明操作盤						
照明架台	2段（上段4台、下段2台）	1式				現状のまま	照明操作盤						
投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	6台	○			約9.3kg	照明操作盤						
同上ランプ	M1000B	6本	○			約1.0kg	照明操作盤						
同上安定器	200V 高力率型	6台	○			約15kg	照明操作盤						
投光器（L E D）		6台		○		既設照明架台に取付	照明操作盤						
照明用配線	CV3.5sq ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○		照明操作盤						
照明分電盤	鋼板製 屋根付 W:300×H:450×D:150	1面			○	指定色 現地DP塗装	照明操作盤						
露出配管（分電盤上部）	G22×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	照明操作盤						
露出配管（分電盤下部）	VE54×1本	1式			○	指定色 現地DP塗装 ※破損箇所は修繕する	照明操作盤						
スピーカー用設備		1式				本工事対象外 現状のまま	照明操作盤						
							照明操作盤						
							照明操作盤						

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	宮小学校 照明柱改修詳細図2・改修内容一覧表		
縮 尺	A2:1/50 A3:1/70	番 号	15枚の内 13号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
原設計図 【A2】	高 山 市		

照明器具姿図

グラウンド (中角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当	グラウンド (広角)	LED250クラス投光器 メタルハイドランプ700W相当
参考品番：岩崎電販 E38301M/NSAJ2		参考品番：岩崎電販 E38301W/NSAJ2	
本 体	アルミ、7-ム：鍍材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、7-ム：鍍材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）	パネル	ポリカーボネート（透明）
光束47500lm、消費電力243W、電圧200~242V		光束47500lm、消費電力243W、電圧200~242V	
星白色、5000K、Ra70、中角配光タイプ		星白色、5000K、Ra70、広角配光タイプ	

照明塔（B-6）		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器（H I D）	8	0
投光器（L E D）中角		7
投光器（L E D）広角		1

照明塔（B-5）		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器（H I D）	8	0
投光器（L E D）中角		7
投光器（L E D）広角		1

照明塔（B-1）		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器（H I D）	8	0
投光器（L E D）中角		7
投光器（L E D）広角		1

照明塔（B-2）		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器（H I D）	8	0
投光器（L E D）中角		7
投光器（L E D）広角		1

照明塔（B-3）		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器（H I D）	8	0
投光器（L E D）中角		7
投光器（L E D）広角		1

機器名称	仕 様
照明分電盤	照明分電盤内組み

※点灯方式は現状のままとする

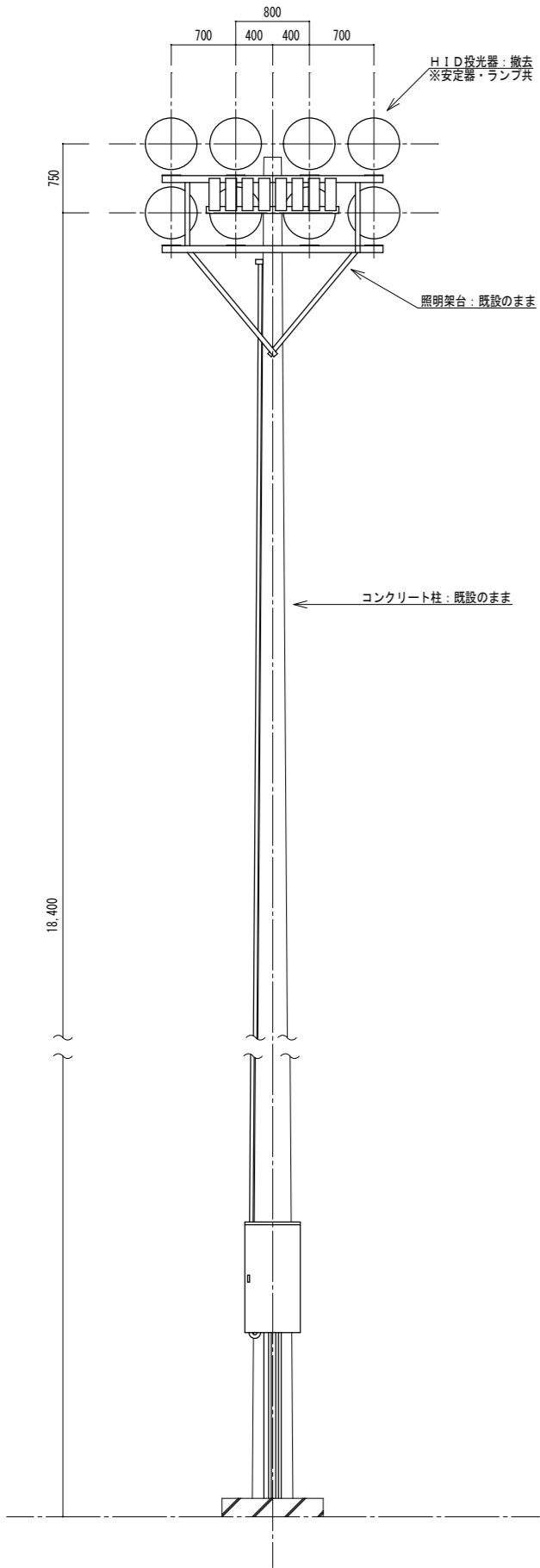
凡 例		
記 号	名 称	仕 様
	照明塔	コンクリート柱
	投光器	現状：H I D器具 今回工事：L E D器具へ取替
	照明架台	現状のまま使用
	照明分電盤	現状のまま使用

既設照明塔 改修内容

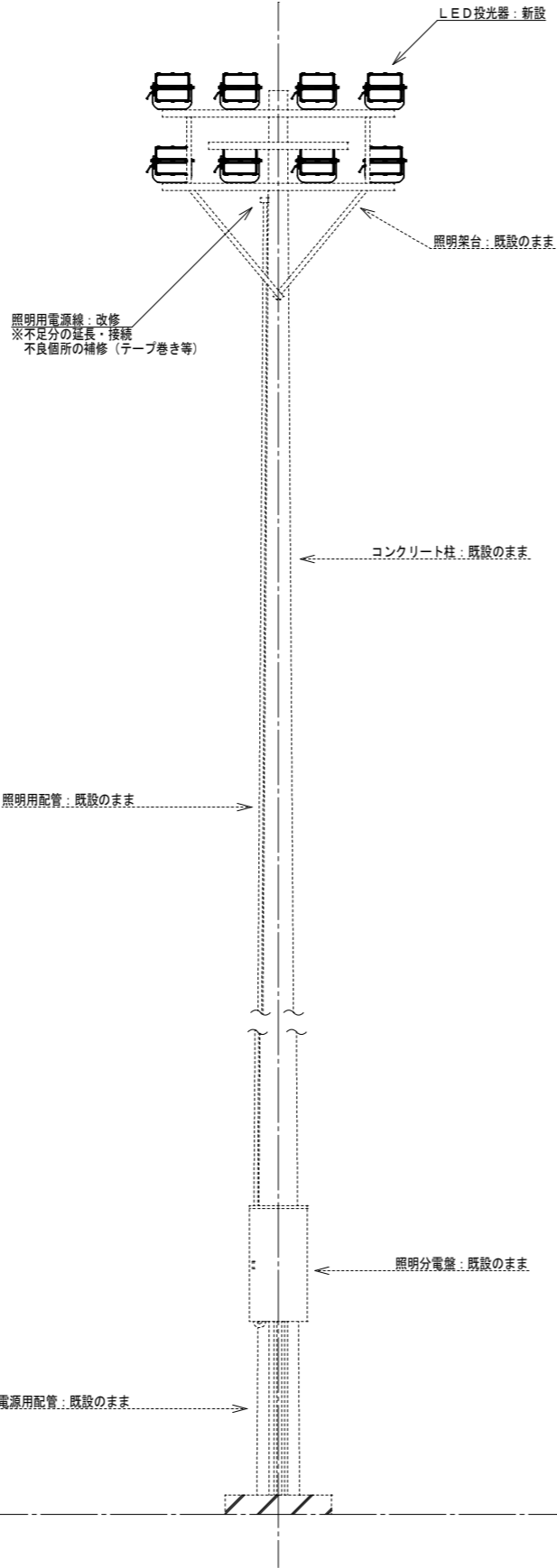
照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
B-1	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
B-2	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
B-3	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
B-4	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
B-5	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○
B-6	1. 既存照明器具の撤去（H I D）（投光器、ランプ、安定器）		○	
	2. 照明器具の新設（L E D）	○		
	3. 上記に伴う照明用配線の改修（不良個所の補修・延長等）			○

工 事 名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	宮中学校 照明設備配置図・機器姿図		
縮 尺	A2:1/300 A3:1/420	番 号	15枚の内 14号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
原設計図 【A2】	高 山 市		

現状詳細図（撤去工事）



改修後詳細図（新設・改修工事）



改修内容一覧表

	機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考
照明塔（B-1）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付	1面				現状のまま
照明塔（B-2）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付	1面				現状のまま
照明塔（B-3）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付	1面				現状のまま
照明塔（B-4）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤（操作盤）	銅板製 屋根付	1面				現状のまま
照明塔（B-5）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付	1面				現状のまま
照明塔（B-6）	コンクリート柱		1本				現状のまま
	照明架台	2段（上段4台、下段4台）	1式				現状のまま
	投光器（H I D）	1 0 0 0 W型	8台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M 1 0 0 0 B	8本	○			約1.0kg
	同上安定器	2 0 0 V 高力率型	8台	○			約15kg
	投光器（L E D）		8台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	EM-C E 3. 5 s q ※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付	1面				現状のまま

工事名	学校グラウンド照明LED化工事		
図 名	宮中学校 照明柱改修詳細図・改修内容一覧表		
縮 尺	A2:1/50 A3:1/70	番号	15枚の内 15号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			